



アスンシオン通信

日付: 2024 年 5 月 23日 no.5

発行者: 田邊紘起

こんなにいたの、日本人！？

先日、現地の日本人会が主催する「父母会バザー」というイベントに行きました。場所は「アスンシオン日本語学校」で、日本に興味があるパラグアイ人や日系人の子供達が日本語を習う（日本人学校とは別の）私立学校です。そこには驚きの光景が…。

会場には食べ物の屋台などが並んでいましたが、日本語を話す日本人らしき人達がたくさんいるではありませんか。買い物をす

る時、日本語が通じるという安心感がとても大きかったです。写真は売られていたものと大盛況の会場の様子です。



日本語とスペイン語で書かれたちらし





売られていたのは、日本のお祭り屋台ではおなじみの「焼きそば」や「からあげ」，「カレー」，「たこ焼き」といった食べ物や「ニャンドゥーティ」というパラグアイの伝統的なレース刺繍などです。こちらに来てから和風の食べ物をあまり食べていなかったのも、夢中でお店の列に並びました。その中でも特にうれし

かったのが「海苔の^{のり}佃煮^{つくだに}（田幸小では苦手な子が多い？）」
で、味は少し甘めでしたがとても美味しかったです。

写真は焼き鳥屋さん（どこかで見たことがあるような野球チームの旗は著作権的にはアウトですね…），お惣菜屋さん，コロツ^{そうざい}ケを揚^あげている人です（お店の人に撮影許可をとっています）。
ちなみに写真に写っている「おにぎり」の値段は一万円ではありません。お金については、次号でくわしくお伝えします。







味付けは日本のものと少し違うと思いましたが、ふるさと日本を感じることができて、とても元気が出るイベントでした。

地球の反対側でも、たくさんの日本人（日系人）が頑張っています。きっと世界中に頑張っている日本人がいるのでしょうね。

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

¡ hola!（オラ！）：「やぁ！」という感じのあいさつ

パラグアイではこの言葉から全ての会話が始まります。子どもも大人も、お店でも道ばたでも同じです。短いけれど、とてもフレンドリーな感じで温かみを感じる言葉です。

次回について

今回は、アスンシオンの街で買い物をした時に驚いたことなどをお伝えします。お楽しみに。

田幸小学校の皆さん、いよいよスポーツフェスティバルですね。けがや熱中症に気をつけて全力を出し切り、みんなが「やって本当によかった。」と思えるものにしていきましょう。みんなの力が必要です。チーム田幸小でがんばってください。